

授業科目名	音楽科教育法 I	教員名	日高 まり子	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
授業形態	演習	担当形態	単独		保育士	
					こども音楽療育士	選択
科目番号	SID203	配当年次	2年前期	卒業要件	小幼コース	必修
単位数	2単位				幼保コース	選択
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）（小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
科目						
系						
一般目標	<p>本授業は、倫理観、発達観に基づいた教師としての情熱を持ち、自己と環境をよりよくできる音楽の授業を通して、子どもの成長に即した適切な指導を実施するために、小学校の学習指導要領を熟読、理解し、大学で学ぶ音楽の専門知識・技能を用いて、教育現場で用いることができる能力を培うことを目標とする。</p> <p>(1) 音楽科の目標及び内容 学習指導要領に示された音楽科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2) 音楽科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到達目標	<p>(1) 音楽科の目標及び内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導要領における音楽科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</li> <li>3) 音楽科の学習評価の考え方を理解している。</li> <li>4) 音楽科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> </ol> <p>(2) 音楽科の指導方法と授業設計</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</li> <li>2) 音楽科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</li> <li>3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</li> <li>4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol>					
授業の概要	<p>音楽科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）に示された音楽科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>「音楽科教育法 I」では、小学校音楽科の目標「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」に基づき、児童の全人的な育成を担う役割があることを理解する。また、現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）にある各学年の目標及び内容の系統表、児童の教科書の内容を研究し、内容分析や系統性を検討していく。アクティブラーニングにより、グループで指導案を作成し、模擬授業を実施する。授業形態は演習とする。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	第1回：前期の授業内容、評価について理解し、持ち物（ノート、A4ファイル）、テキストの確認					

を行う。第3回より、第15回までは前回の講義で実施した小学校学習指導要領解説音楽編（以下指導要領と略記する）に関する小テストを実施する。模擬授業の到達目標を明確にするために授業例として実際の小学校の音楽授業を視聴する。（目標(1)-1), (2)-1))

第2回：学習指導要領（現行学習指導要領 平成29年3月28日告示）の基本的なねらいである、①生きる力の育成、②知識・技能の習得と思考力・表現力などの育成とバランスの重視、③豊かな心と健やかな体の育成について学び、音楽科改訂の要点について把握し、「新しい音楽科の目指すもの」を理解する。また新学習指導要領（平成29年3月公示）との対比から改訂点についても理解する。（目標(1)-1), 2))

第3回：学習指導要領小学校音楽科の目標について、教育基本法第29条、第21条⑨と照らし合わせ一節ずつ内容を研究し、新学習指導要領（平成29年3月公示）及び中学校音楽科の学習指導要領目標とも関連させて教科目標の趣旨を正しく理解する。（目標(1)-1))

第4回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第1学年及び第2学年の目標について低学年児童の感覚的に物事をとらえる傾向を踏まえ、実際に最も趣旨が合致すると思われる表現教材・鑑賞教材を使い、表現・鑑賞の目標が設定されていることを確認する。（目標(1)-1), 2))

第5回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第1学年及び第2学年の内容A[表現]について、項目1（歌唱）、項目2（器楽）、項目3（音楽づくり）、項目4（表現教材）のそれぞれの事項について理解する。（目標(1)-2), 3))

第6回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第1学年及び第2学年の内容B[鑑賞]について、項目1（鑑賞の活動を通して次の事項を指導する）の事項、項目2（鑑賞教材）の事項からその観点を学習し、共通事項の意味と内容、生かし方を理解する。（目標(1)-2), 3), 4))

第7回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第3学年及び第4学年の目標について中学年児童の知的な成長に伴った理解力や表現意欲、友達とのコミュニケーション能力の向上を踏まえ、実際に最も趣旨が合致すると思われる表現教材・鑑賞教材を使い、表現・鑑賞の目標が設定されていることを確認する。（目標(1)-2), 3), 4), (2)-4))

第8回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第3学年及び第4学年の内容A[表現]について、項目1（歌唱）、項目2（器楽）、項目3（音楽作り）、項目4（表現教材）のそれぞれの事項について理解する。（目標(1)-2), 3), 4))

第9回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第3学年及び第4学年の内容B[鑑賞]について、項目1（鑑賞の活動を通して次の事項を指導する）の事項、項目2（鑑賞教材）の事項からその観点を学習し、共通事項の意味と内容、生かし方を理解する。（目標(1)-2), 3), 4))

第10回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第5学年及び第6学年の目標について、心身の発達が目覚ましく、美への関心や表現力が増し、社会性の発達も見られることを踏まえ、実際に最も趣旨が合致すると思われる表現教材・鑑賞教材を使い、表現・鑑賞の目標が設定されていることを確認する。さらに全学年について、目標の項目と系統を整理して指導内容の段階性、音楽的な発達の筋道を理解する。（目標(1)-2), 3), 4), (2)-2))

第11回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第5学年及び第6学年の内容A[表現]について、項目1（歌唱）、項目2（器楽）、項目3（音楽作り）、項目4（表現教材）のそれぞれの事項について理解する。（目標(1)-2), 3), 4))

第12回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、第5学年及び第6学年の内容B[鑑賞]について、項目1（鑑賞の活動を通して次の事項を指導する）の事項、項目2（鑑賞教材）の事項からその観点を学習し、共通事項の意味と内容、生かし方を理解する。（目標(1)-2), 3), 4), (2)-2))

第13回：現行学習指導要領及び新学習指導要領（平成29年3月公示）、指導計画の作成と内容の取扱いについて、表現、鑑賞、共通事項の項目と照らし合わせて理解を深める。指導案の作成方法について、題材設定と、授業展開の基礎について学習し、宮崎県教育研修センターの指導案の

	<p>フォームに従って題材、目標、教材を選び、指導観、本時の目標、指導過程を計画し、授業外学習によって仕上げる。(目標(2)-3)</p> <p>第14回：代表者の指導案に基づき、他学生を児童とみなして模擬授業を実施しその授業について批判的に意見交換する。(目標(2)-4)</p> <p>第15回：前回の模擬授業の反省に立ち、別の学生による模擬授業を実施し、板書、全体的な表現力に着目し批判的に意見交換を行う。小学校学習指導要領音楽編を振り返り、これからの学校教育、音楽教育についてグループでテーマを決めて話し合い、発表を行う。(目標(2)-4)</p> <p>期末試験：試験期間中に筆記試験を実施</p>
学生に対する評価	<p>毎回実施する小テスト50%、期末試験50%により評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
授業外学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：毎回、講義する内容について事前に教科書のページ数等を指定するので、入念に予習し、不明な点等を明確しておくこと。</p> <p>事後学習：毎回の講義内容に関連するレポートや小テストを課すので、解答して正解を確認した上でファイルしておくこと。</p> <p>その他：毎週土日に必ず振り返りを行うこと。</p>
テキスト	<p>『2011年度改訂版教員養成課程小学校音楽教育法』(教育芸術社)</p> <p>『小学音楽1～6 おんがくのおくりもの』 著作者：三善晃(教育出版株式会社)</p> <p>『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編』</p>
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領(平成29年告示)』</p> <p>『小学校新学習指導要領の展開』 著者：佐藤日呂志・坪能由紀子 出版社：明治図書</p>
担当者からのメッセージ	<p>教具として、鍵盤ハーモニカ、ソプラノリコーダーを使用する。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日 13:00～14:30</p>